

## IPCC AR6 WG1 アウトライン

### 政策決定者向け要約

### 技術要約

#### 第1章：構成、背景、手法

##### 要旨

- AR5 及びそれ以前の評価報告書からの重要な知見の統合、並びに AR6 の特別報告書との関連性
- グローバル・ストックテイクの文脈における緩和、適応、及びリスク評価に関連した自然科学的情報の構成
- 評価のアプローチ
- AR5 以降の観測及び再解析の進展
- AR5 以降のモデル及び実験デザインの進展
- 排出及び強制力のシナリオ
- 報告書共通の不確実性の扱い及び評価

よくある質問

#### 第2章：気候システムの変化状態

##### 要旨

- 数千年単位での状況、工業化以前から現代まで
- 自然起源及び人為起源の強制力
- 放射強制力
- 大気、海洋、雪氷圏、陸域、及び生物圏の観測された変化を示す大規模指標
- 変動モード

よくある質問

#### 第3章：人間が気候システムに及ぼす影響

##### 要旨

- AR5 以降のモデルの性能及び進展についての概要
- 大気、海洋、雪氷圏、陸域、及び生物圏の変化を示すシミュレートされた大規模指標
- シミュレートされた変動モード
- 自然起源の変動性と人為的に強制された変化の対比
- 観測された大規模変化の原因特定

よくある質問

## 第4章：将来の世界の気候：シナリオに基づいた予測及び近未来に関する情報

### 要旨

- 世界平均地上気温及びその他の主要な世界規模の指標の予測
- 複数モデルによるアンサンブル法の評価
- 気候変化の大規模パターン
- 不可避的な気候応答、気候目標、オーバーシュート、不可逆性、急激な変化
- 温室効果ガス除去のシナリオに対する気候応答
- 太陽放射管理のシナリオに対する気候応答
- 内部変動と短寿命強制因子を含む強制力に対する応答の間の相互作用
- 世界平均地上気温の変動性及び想定外の変化
- 近未来の予測可能性、根拠及び予測能力
- 近未来の気候に関する情報の統合

よくある質問

## 第5章：地球規模の炭素と他の生物地球化学的循環及びそのフィードバック

### 要旨

- 気候と生物地球化学的循環の間のフィードバック（古気候学的情報を含む）
- 海洋酸性化
- CO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>及びN<sub>2</sub>Oの過去のトレンド及び変動性；発生源と吸収源
- 地球の生物地球化学的循環の近未来から長期的未来にわたる予測
- 急激な変化、不可逆性
- モデル評価、新たな制約
- 累積排出量に対する過渡的気候応答、及び気候目標までに残されているカーボンバジェット
- 陸域と沿岸域の管理による緩和オプション及び温室効果ガス除去の生物地球化学的意味合い
- 太陽放射管理シナリオの生物地球化学的意味合い

よくある質問

## 第6章：短寿命気候強制因子

### 要旨

- 主要な排出：世界全体の概観、自然起源、人為起源、過去及びシナリオ
- 観測及び復元された濃度及び放射強制力
- 直接的及び間接的なエアロゾル強制力
- 温室効果ガスの寿命に対する意味合い
- 都市化を含む異なる社会経済経路及び排出経路の放射強制力に対する意味合い
- 大気質及び大気組成との繋がり

よくある質問

## 第7章：地球のエネルギー収支、気候フィードバック、及び気候感度

### 要旨

- エネルギー収支とその経時変化
- 放射強制力：定義、推定、及びモデルによる表現
- 気候フィードバック
- 気候システムの感度：手法及び不確実性
- 気候システムの感度に関する経験的制約（古気候を含む）
- 地球温暖化係数、地球温度変化係数などの計量基準

よくある質問

## 第8章：水循環の変化

### 要旨

- 観測、モデル、手法及びその信頼度
- 過去、現在、及び予測される将来の水循環の物理的構成要素における変化、トレンド、変動性、及びフィードバック
- 水蒸気及び降水量パターン（極端現象を含む）に影響を与える循環、プロセス及び現象（例えば、モンスーンシステム）
- 水循環に影響を与える雲・エアロゾルのプロセス
- 自然貯水及び水の取得可能性の季節性の変化
- 急激な変化
- 予測の確信度

よくある質問

## 第9章：海洋、雪氷圏、及び海面水位の変化

### 要旨

- 海洋循環並びに諸特性（トレンド、変動性及び極端現象）の過去及び将来の変化
- 海洋及び陸域雪氷圏の過去及び将来の変化
- モデル及び予測手法の評価
- 検出と原因特定
- 過去の地球規模及び地域規模の海面水位変化
- 地球規模及び地域規模の海面水位変化予測
- 急激な変化及び長期変化の不可避性
- 極端な水位（潮汐、高潮及び波浪）

よくある質問

## 第10章：世界規模と地域規模の気候変動のつながり

### 要旨

- 地域規模の現象、駆動要因、フィードバック及びテレコネクション
- 地域規模での観測及び再解析
- 地域規模での内部変動と強制された変化の相互作用（原因特定を含む）
- モデルの改良、ダウンスケーリング及びバイアス調整を含む手法、並びに地域特異性の評価
- 地域気候情報についての確信度（不確実性の定量化を含む）
- 都市、山岳域、沿岸域、集水域、小島嶼等の空間規模に特有の手法
- 複数の証拠から得られた情報の統合に向けた方法

よくある質問

## 第11章：変化する気候下における気象及び気候の極端現象

### 要旨

- 気象及び気候の時間スケール並びに複合現象など包括的な極端現象の種類（干ばつ、熱帯低気圧を含む）
- 極端現象の観測及びその限界（古気候を含む）
- 極端現象をもたらすメカニズム、駆動要因及びフィードバック
- 極端現象及び関連するプロセスをシミュレートするモデルの能力
- 極端現象の変化及び極端現象の原因特定
- 極端現象の予測される変化及び潜在する想定外の事象の評価
- 様々な時間スケールでの事例研究

よくある質問

## 第12章：地域規模の影響及びリスクを評価するための気候変化に関する情報

### 要旨

- 構成：物理的気候システム及びハザード（潜在的危険性）
- 地域特有の情報の統合（確信度を含む）
- 現在、近未来及び長期的に変化するハザードに関する（定量的及び定性的）情報
- 地域特有の手法
- 変化するハザード、世界平均気温の変化、シナリオ及び排出の間の関連性

よくある質問

## 付録

作業部会横断的な統合のオプション（地域のアトラスを含む）

作業部会共通用語集

技術情報付属書

略語一覧

執筆者一覧

査読者一覧

## 索引

参考情報：IPCC AR6 WG1 アウトライン

[http://ipcc.ch/meetings/session46/AR6\\_WG1\\_outlines\\_P46.pdf](http://ipcc.ch/meetings/session46/AR6_WG1_outlines_P46.pdf)